

ひかり

一般社団法人

光陽福祉会

発行日 平成 28年1月 第66号

新年あけましておめでとうございます

2016年の幕開けです。本年も理事・職員一同どうぞ宜しくお願い申し上げます。

会長 菊池 利哉

ハウンドドックという歌手の詩の中に

「本当の幸せなんて、どこにでもあるのさ〜♪」という一文があります。

この歌詞が大好きで、時々カラオケで熱唱する。若い職員には理解されない歌唱力ではあるが、聞いてもらいたいのはこの歌詞だ。

本当の幸せなんてどこにでもある。ともすると、何故に自分は不幸なんだー。とか、将来が心配とか不安とかで、今ある自分の幸せを噛みしめていない。

家庭があつて、親がいて、子どもがいて、仕事があつて、生活出来て、友達がいて、先輩がいて、後輩がいて、いろんな人に囲まれて、そして、今の自分がある。

この幸せを噛みしめず、不幸と不安を募らせる思考。本当は幸せなのに・・・せつかく生かして頂ける人生。「幸せ」を噛みしめながら邁進して行きたいものです。

さて、本年の一般社団法人光陽福祉会は、第3光陽の竣工と併せて行う企業との協働。今までに例のない取り組みは、職員も私もワクワクしています。例のないことにチャレンジし続けることが光陽スタイルであり、光陽ブランドであると自負しています。そして、この例のないことに取り組めることが、大変ではなく、まさに「幸せ」であると実感しています。

私たちは、子どもたちと出会い、共に成長し、共に学び、共に生きることに幸せを噛みしめることのできる法人です。

本年も理事・職員一同、一生懸命努力して参りますので宜しくお願い申し上げます。

就労支援センター 光陽

ちよつとずつ…

水向 美央

明けましておめでとうございます。みなさんお正月はいかがお過ごしでしたか？
楽しいお正月気分から「仕事」というキリッとした気持ちに切り替えることが彼らの初仕事です！！
切り替えができるかな～そんな思いで見守ることが私達職員の初仕事です(笑)
そんな初仕事を迎えながら、今年も彼らとともに新たな気持ちで頑張りたいと思います(*^^*)

さて、去年はワークサポート光、ジョブサポート光成ともに
毎日の作業で就労のスキルアップ、そして月1回の就労に掛かる取り
組みの中で生活面でのスキルアップを図ってきました。
1日の中では、一歩進み、2歩下がり…の繰り返しです。
喜んで、落ち込んで、悔しい思いをして前に進む彼らがいます。
毎日が学び。そして葛藤。

しかし、それが成長に繋がると信じています。
保護者の方も彼ら同様、同じ気持ちだと思っています。

彼らは「社会人」として…
そして保護者の方は「社会へと送り出した保護者」として…

成長できる1年にしていきたいですね。
私達職員も一緒に頑張っていきたいと思いますので、本年も宜しくお願い致します！！



きっずサポートはぐくみ

サーカス見て来たよ！

増田 彩加

新年あけましておめでとうございます。

先月は、はぐくみでもポップサーカスに行ってきました。私も初めてのサーカスにドキドキしながらの参加でした。環境の変化にドキドキしちゃう子、大きな音が苦手な子、サーカスの薄暗いテントの中、みんな大丈夫かな？と少し心配もありました。

サーカスが始まりました。壮大な音楽とともにキラキラ光る照明と、空中浮遊の人がビューンと飛び出します。それを見たH君は、ステージの方を指差して私の顔を振り返り(今のすごいね！)と言わんばかりです。「すごかったね！」気持ちを一緒に共有できるのって嬉しいですね！お兄さんチームは隣同士座ってショーにくぎ付け。はじめはドキドキして見れそうになかった子も途中からは(なんだか面白そうだぞ)と職員の傍で最後まで観ることが出来ました。楽しい思い出が出来たね♪



サポートセンターつぼみ

あっという間の三ヶ月

高木 章

サポートセンターつぼみに入ってから3カ月経った高木です。

この3カ月間で子ども達の様々な活動の様子を見たり、時間を一緒に過ごさせてもらいました。毎日様々な活動がある中で、その子にとって苦手な事であったり、興味のある事であったり、活動に向かう気持ちはその日によって違うのは当たり前ですが、苦手な事でもなんとかやってみようとする子どもの姿をみて、すごいと感じる時があります。

大人の自分でも苦手なことやその日の気分で「やりたくない」と思ったりして、つい事を先延ばしにしてみたりすることがありますが、子どものエネルギーはすごいもので、例えばファンルームづくりでも指先がうまく使えなくて、なかなか上手にできない時でも、途中で投げ出さず、「難しい」とはいいいながらも、一生懸命手を動かし続けて完成させようとする姿、気持ちに感動します。困難を乗り越え、自分の苦手な事を克服しようとするエネルギーはどこからでてくるのでしょうか？大人も子供も人間だから時には壁にぶつかって、途中で投げ出しそうになる時がありますが、私は頑張る子どもの姿をみて乗り切る勇気もらっています。困難なことに出会った時、寄り添い乗り越えていける職員になりたいと思います。

